

平成19年度

# 決算報告書

第4期事業年度（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

国立大学法人三重大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人三重大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,809	11,809	0	
施設整備費補助金	2,449	2,454	5	(注1)
船舶建造費補助金	685	685	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	80	151	71	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	58	58	0	
自己収入	16,970	18,210	1,240	
授業料、入学料及び検定料収入	4,357	4,374	17	(注3)
附属病院収入	12,514	13,588	1,074	(注4)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	99	248	149	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,594	2,143	549	(注6)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金	1,070	1,070	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	3	3	(注7)
目的積立金取崩	203	303	100	(注8)
計	34,918	36,886	1,968	
支出				
業務費	22,549	23,478	929	(注9)
教育研究経費	9,504	9,553	49	
診療経費	13,045	13,925	880	
一般管理費	5,237	4,912	△ 325	(注10)
施設整備費	3,577	3,582	5	(注11)
船舶建造費	685	685	0	
補助金等	80	151	71	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,594	1,866	272	(注13)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1,196	1,194	△ 2	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	34,918	35,868	950	
収入－支出	0	1,018	1,018	

○予算と決算の差異について

(注1)施設整備費補助金については、災害復旧工事の予算追加により、予算金額に比して決算金額が5百万円多額となっています。

(注2)補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が採択されたため、予算金額に比して決算金額が71百万円多額となっています。

(注3)授業料、入学料及び検定料収入については、志願者・入学者数の増加により、予算額に比して決算金額が17百万円多額となっています。

(注4)附属病院収入については、在院日数の短縮と手術件数の増加による入院診療単価の増等により、予算金額に比して決算金額が1,074百万円多額となっています。

(注5)雑収入については、主として予算段階では予定していなかった科学研究費補助金等間接経費の受入や、学校財産貸付料の増等により、予算金額に比して決算金額が149百万円多額となっています。

(注6)予算段階では予定していなかった国や民間等からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が549百万円多額となっています。

(注7)承継剰余金については、予算段階では予定していなかった損害賠償の和解金を支払ったことにより、予算金額に比して決算金額が3百万円多額となっています。

(注8)目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が100百万円多額となっています。

(注9)業務費については、教育研究用設備の重点整備及び附属病院の増収に係る薬品等の診療費用が増大したため、予算金額に比して決算金額が929百万円多額となっています。

(注10)一般管理費については、退職手当が当初見込より少額となったため、また職員人件費の削減や経費の節減に努め、予算金額に比して決算金額が325百万円少額となっています。

(注11)(注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が5百万円多額となっています。

(注12)(注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が71百万円多額となっています。

(注13)(注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が272百万円多額となっています。